

総務省国立研究開発法人審議会 宇宙航空研究開発機構部会（第1回）

1 日時 平成27年4月23日（木）15：45～

2 場所 総務省第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

梅比良 正弘（部会長）、知野 恵子（以上2名）

（2）専門委員（敬称略）

入澤 雄太、小林 英雄、末松 憲治、中須賀 真一、藤野 義之、藤本 正代、
矢入 郁子（以上7名）

（3）総務省

武井官房総括審議官

（事務局）

山内宇宙通信政策課長、後藤宇宙通信政策課衛星開発推進官

4 議題

（1）部会長互選

（2）部会長代理の指名

（3）その他

開 会

【山内課長】 それでは、宇宙航空研究開発機構部会を開催させていただきます。

部会長選出までの間、議事進行を務めさせていただきます。

N I C T部会の方々も、そのままお座りいただいて結構でございますので、よろしくお願いいたします。

では、議事次第に従いまして議事を進めさせていただきますが、本日、委員3名中、水野先生を除きましてお二方ご出席でございます。定足数を満たしております。

また、先ほど総務省国立研究開発法人審議会会長から指名をされましたこの部会に所属していただく委員、専門委員の名簿は、宇部1-1として配布いたしますので、ご確認いただければ幸いです。

議 題

(1) 部会長互選

【山内課長】 N I C T部会同様、部会長の選出をお願いしたいと存じます。総務省国立研究開発法人審議会令第5条第3項の規定によりまして、部会長は委員の選挙により選任となっております。どうぞ委員の皆様からのご推薦をよろしくお願いいたします。

【知野委員】 これまで総務省独立行政法人評価委員会情報通信・宇宙開発分科会会長代理及び宇宙航空研究開発機構部会部会長を務めてこられた梅比良委員が適任であると思います。私は、梅比良委員をご推薦申し上げます。

【山内課長】 ありがとうございます。ただいま知野委員から梅比良委員を部会長にというご推薦がありました。皆様いかがでございますか。

(「異議なし」の声あり)

【山内課長】 ありがとうございます。それでは、梅比良委員に部会長をお願いしたいと存じます。

ここからの議事進行は、梅比良部会長、よろしくお願いいたします。

【梅比良部会長】 それでは、お手元の議事次第に従いまして議事を進めてまいります。

まず初めに、ただいま部会長に選出されましたので、一言ご挨拶申し上げます。

このたび部会の任務が、総務大臣が行う宇宙航空研究開発機構の評価、中長期目標（案）に対する意見を述べるという形に変わりましたが、引き続き、よりよい活動になりますよう努力させていただきたいと思います。委員、専門委員の皆さんにもご協力いただきますよう、ぜひよろしくお願い申し上げます。

（２）部会長代理の指名

【梅比良部会長】 次に、私が部会長として宇宙航空研究開発機構部会を主宰できない場合の代行をお願いする部会長代理を決めたいと存じます。部会長代理は、規定によりまして部会長が指名することになっておりますので、私から指名させていただきます。部会長代理は、本日ご欠席でございますけれども、水野委員にお願いしたいと思います。事務局から事前に確認していただいて、ご了承をいただいております。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の議題は、以上でございます。委員、専門委員の皆さんから何か特にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

事務局から何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

閉 会

【梅比良部会長】 それでは、本日の会議を終了させていただきます。次回の日程につきましては事務局からご連絡を差し上げますので、皆様よろしくお願いいたします。

以上で閉会とさせていただきます。

【田沼企画官】 最後でございますが、3つの会合全て終了いたしました。委員、専門委員の皆様におかれましては、大変ありがとうございました。

最後、私ども総務省を代表いたしまして武井大臣官房総括審議官から一言ご挨拶させていただきます。

【武井総括審議官】 今日は、皆様お忙しいところ多数お集まりいただきまして、まことにありがとうございました。審議会の制度が変わったものですから、会長、それぞれの部会長を選ぶことが最大の目的でありましたが、今後の審議のところでご紹介したように6月末ぐらいになりますと、今、両法人でまとめていただいております前年度の実績報告書、

またNICTからは見込み実績評価書が提出されます。6、7月からはヒアリング、それから評価の作業と、大変、過密なスケジュールをお願いすることになろうと思っております。

特にNICTにつきましては、毎年の年度評価に加えて、5年間の見込み評価がございます。今までは5年間終わってから5年間の全体評価をやっていたのですが、それでは次の中長期目標をつくるときの参考にならないということで、今年度末、来年の3月にはこのぐらいの成果をNICTは達成するだろうというものを事前に評価する制度になっているものですから、5年分については4年ちょっとの実績から5年全体の成果を推定いただいて評価を仮に行っていたと、二重の手間を今年はお願ひすることになります。7月、8月ごろは大変ご負担をおかけすることになると思いますが、ぜひよろしくお願いいたします。

また、秋からは、次の新しい中長期目標のご検討をお願いすることになります。先ほど藤井先生から予算要求との関係でご質問いただきましたが、補足させていただきますと、この審議会ではむしろ実際の中長期目標として盛り込むべき様々な内容をご審議いただくことになっております。実際の中身は、現在、情報通信審議会で、この審議会のメンバーにもご参加いただき、次の5年間にNICTも含めて国の研究開発体制をどうすべきかという議論をさせていただいております。そこでは実質的な中身で、こういう研究が要るだろう、あるいは、こういうやり方でやったらどうかということ夏ごろに答申をいただけるように今審議をいただいております。それを受けて概算要求を行って28年度、あるいは28年から5年間、このぐらいの運営費交付金が必要になるといった折衝をやって、予算を見て、最終的に中長期目標の案をまとめ、最終的に中長期目標はこのようなものでどうかというプロセスでつくり上げていただくことになります。国立研究開発法人審議会の移行と、目標の5年間の切れ目が重なっている時期ですから、特にお手数をおかけすることになろうかと思っております。

また、JAXAにつきましても、ご案内のとおり主務大臣が増えておりますので、他省庁の研究開発法人審議会の審議との調整など気を配りながらやっていきたいと思っております。実務的には、昨年までの独法評価委員会とほぼ同じような形で進めさせていただければと思っておりますが、評価の主体も変わっておりますし、我々もなかなか気づかない点もありますので、進めていく中でご不明な点等があれば気軽に事務局にお申しつけください。

ハードスケジュールとなりますが、このままご協力をお願いいたしまして、本日のご挨拶にさせていただきますと思います。どうも本日はありがとうございました。

【田沼企画官】 以上でございます。また後日、日程等についてはご相談させていただきますのでよろしくをお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

以上